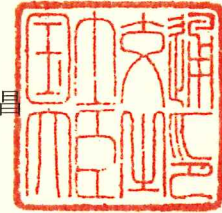


認定書

国住参建第 3030 号
令和 6 年 12 月 25 日

未来工業株式会社
代表取締役社長 中島 靖 様

国土交通大臣 中野 洋昌



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0732-1
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管・給水管・排水管／膨張黒鉛混入水酸化アルミニウムイソブチレン-イソプレン系シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別 添

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／膨張黒鉛混入水酸化アルミニウムイソブチレン-イソブレン系シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ160mm以下)
	面積	0.021m ² 以下
占積率 (開口面積に対するケーブル・配管の断面積の総合計の割合)		58.6%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、FP060NP-0075-1、FP060NP-0117、FP060NP-0185-1、FP060NP-0189、FP060NP-0192-1、FP060NP-0233、FP060NP-0250-1、FP060NP-0258-1、FP060NP-0294-1、FP060NP-0345-1、FP060NP-0360-3、FP060NP-0379-1、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、FP060NP-0427-1(1)、FP060NP-0427-1(2)、FP060NP-0441(1)、FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454-1、FP060NP-0485、FP060NP-0487、FP060NP-0497、FP060NP-0504(1)、FP060NP-0504(2)) 厚さ 42mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、ケーブル・配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目	仕 様	
充てん材	材料	膨張黒鉛混入水酸化アルミニウム・イソブチレン-イソブレン系シール材
	密度	1.5(±0.2)g/cm ³
	組成 (質量%)	
	使用方法	隙間が無いよう密に充てん(壁厚方向57mm以上)

表3 ケーブル・配管の仕様

項目	仕様			
ケーブル (電線)	導体(又は芯線)の断面積	1本あたり 総合計	100mm ² 以下 468mm ² 以下(銅等の金属類)	
	総有機量	3.5kg/m以下		
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質		
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	2.0mm以下
		塩化ビニル系		
		EPR(エチレンプロピレン系)		
		ポリオレフィン系		
介在(円形に調整する充てん材)	紙、ジュート、ポリオレフィン又はなし			
シース	ポリエチレン系	厚さ	2.2mm以下	
	塩化ビニル系			
	ポリオレフィン系			
	合成ゴム系			
電線管 ・ 給水管 ・ 排水管 (以下、 配管と いう)	配管の種類 (電線管・ さや管・ 挿入管)	結露防止層付硬質塩化ビニル管 外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 (結露防止層) 内層：硬質塩化ビニル層	φ76mm以下	9.5mm以下 (内層2.5mm以下)
		波付硬質合成樹脂管 (JIS C 3653 附属書1) (FEP管) 材質：塩化ビニル製	φ64.5mm以下	—
		硬質塩化ビニル電線管 (JIS C 8430) (VE管)	φ26mm以下	2.2mm以下
		ポリエチレン管 (JWWA K144、PTC K03、PWA001、PWA005)	φ90mm以下	9.5mm以下
		ポリブテン管 (JIS K 6778)	φ34mm以下	3.2mm以下
		硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (VU)	φ114mm以下	3.9mm以下
		被覆付可とう塩化ビニル管 外層・内層：ポリ塩化ビニル樹脂 断熱層：ポリエチレン系樹脂	φ37mm以下 (内径φ25mm以下)	6mm以下
		銅管(JIS H 3300)	φ15.88mm以下	1.0mm以下
		鋼管(JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、 JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、 JIS C 8305)	φ15.88mm以下	3.0mm以下
		ステンレス鋼管 (JIS G 3448、JIS G 3459)	φ15.88mm以下	3.0mm以下

つづく

つづき

被覆材 (後付タイプ) (あり又はなし)	ポリエチレン系樹脂	外径	φ112mm以下 (仕上がり外径)	厚さ	20mm以下
	ポリウレタン系樹脂				
	ポリプロピレン系樹脂				
	ポリスチレン系樹脂				
	フェノール系樹脂				
	塩化ビニル系樹脂				
	ポリウレタン系樹脂(保温材層)とポリエチレン系樹脂(表皮層)の複合材				
	ロックウール(JIS A 9504)				
使用条件	1)配管(ポリブテン管)に被覆材(20mm以下)を用いることができる 2)配管(ポリエチレン管、銅管、鋼管及びステンレス鋼管)に被覆材(10mm以下)を用いることができる				

4. 副構成材料の仕様 :

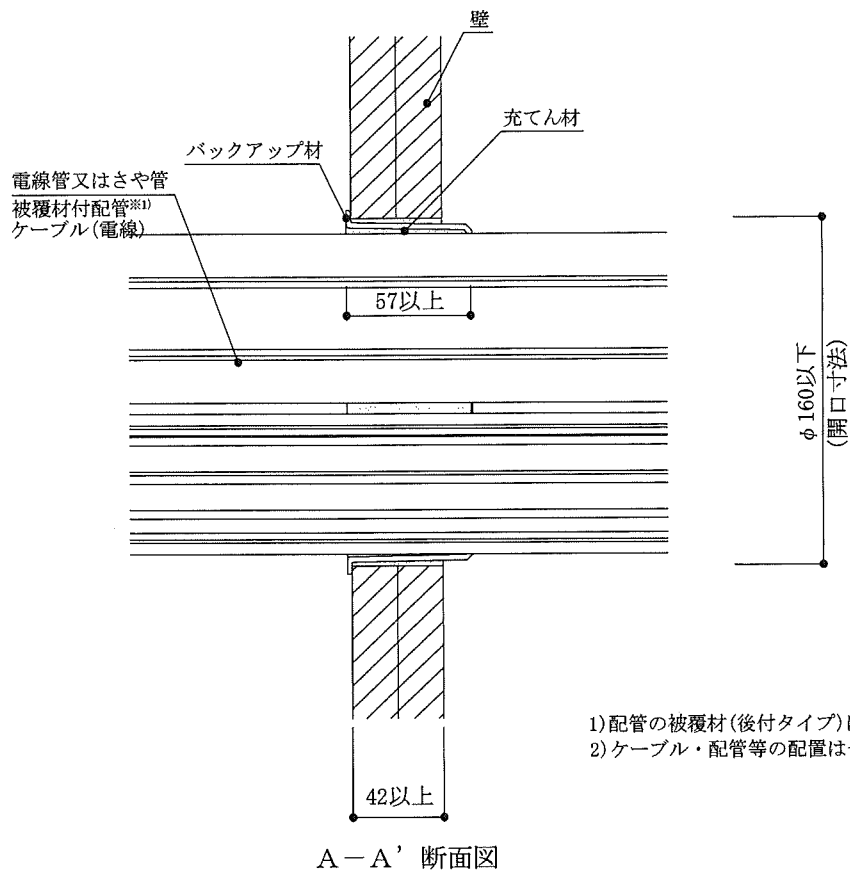
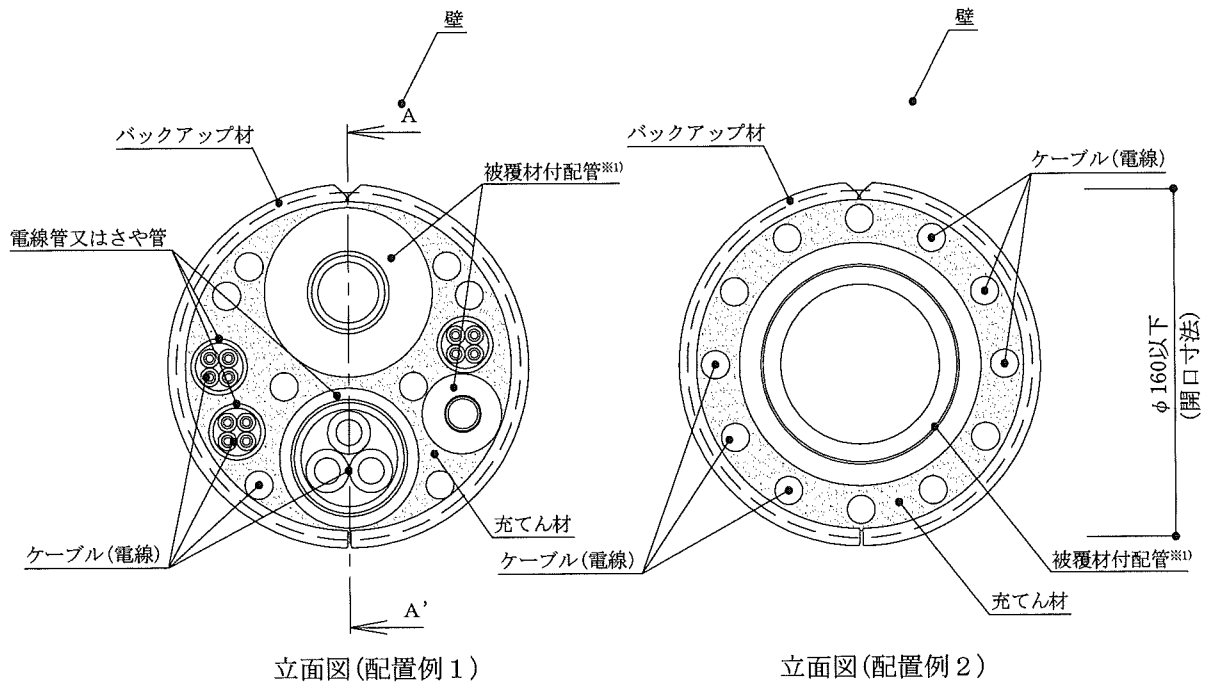
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
バックアップ材	材料	①～④のー ①ポリプロピレン系樹脂 ②塩化ビニル系樹脂 ③ABS樹脂(アクリロニトリルブタジエンスチレン) ④ABS樹脂(アクリロニトリルエチレンプロピレンジエンスチレン)
	寸法	落とし込み寸法57mm以上 外径180mm以下(図2参照)
	使用方法	充てん材の受け材用
仕上げ材	材料	仕様：あり又はなし ①又は② ①アルミニウム箔(粘着剤付) ②アルミニウム箔張りガラスクロス(粘着剤付)
	使用方法	開口部の表面仕上げ(充てん材の施工側面)

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm



- 1) 配管の被覆材(後付タイプ)はあり又はなし
- 2) ケーブル・配管等の配置は一例を示す

図1 構造説明図(施工図)

単位 mm

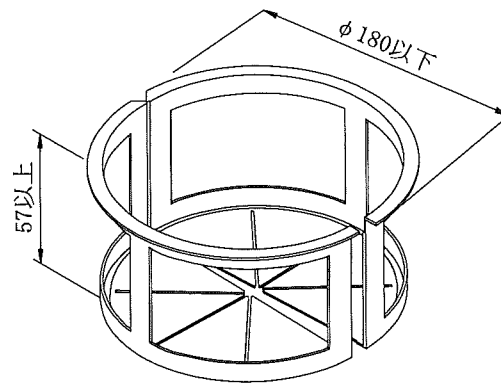
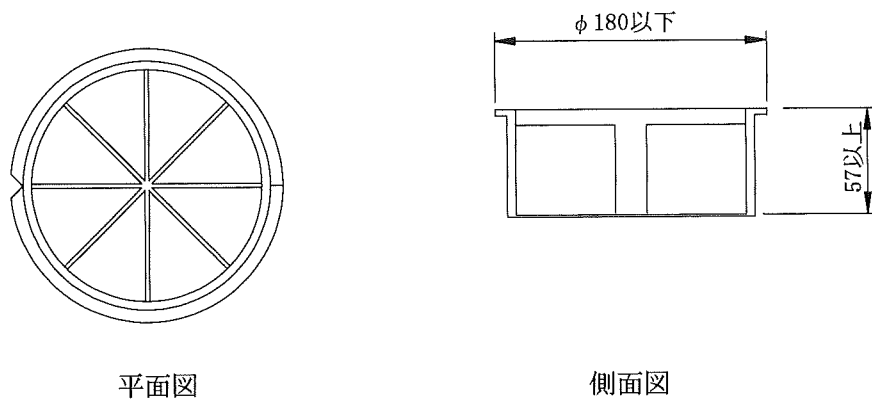


図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口部の確認
申請仕様に適合した壁及び開口(形状・面積)であること。
- (2) ケーブル・電線管、給水管、排水管(以下、「配管及びケーブル」という)を施工する。
- (3) バックアップ材の取り付け
バックアップ材を配管及びケーブルに取り付け、開口内部に挿入する。
- (4) 充てん材の施工
開口と配管及びケーブルの隙間に、充てん材を壁面から57mm以上、バックアップ材の形状に合わせて充てんする。
- (5) 仕上げ材
必要に応じて、仕上げ材を開口部表面(充てん材施工側)に施工する。